

米山記念奨学会委員会

委員長 岩本 富男

ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリークラブ会員の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。将来、日本と世界とを結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することを使命としています。

2017学年度の奨学生は793人、事業費は13億円（2016-17年度決算）と、外国人留学生を対象とした民間の奨学金では国内最大規模です。これまでに支援した奨学生数は累計で19,808人（2017年7月現在）。その出身国は、世界125の国と地域に及びます。

◆米山記念奨学委員会の2018-19年度地区活動方針は次の通りです

- ① 米山記念奨学会の目的や活動内容についての会員の理解を深める。また、そのための効果的なセミナーを実施する。
- ② 米山記念奨学生が会員の交流を通じて、ロータリーに対する理解を深め、国際親善の積極的な推進を図るようにする。
- ③ 米山月間（10月）におけるクラブの関連プログラムに協力する。
- ④ PHD協会の活動を支援する。

◆2018-19年度の年間数値目標は次の通りです

米山記念奨学金 1名あたり 17,000円

当クラブは、普通寄付金として5,000円/1会員/年、その他個人や法人より特別寄付金をいただいています。個人の2,000円を超える特別寄付については、税額控除または所得控除が受けられ、累計額10万円ごとに米山功労者として感謝状、100万円ごとにピンバッジ、400万円以上はクリスタルの盾が贈られます。法人として特別寄付をした場合は、一般の寄付金損金算入限度額とは別枠で損金算入でき、これにより法人税額が軽減されます。

会員各位の温かいご理解とご支援をお願いいたします。